

■ 図書室紹介 ■

足利赤十字病院 図書室

権田 修

足利赤十字病院は、栃木県の南西部に位置する足利市にあります。人口76万人の両毛医療圏の中で最先端医療を駆使し、地域の中核病院として質の高い安全な医療の提供を目的としております。

また、病院理念に「患者のみなさまがかかってよかった、職員のひとりひとりが勤めてよかったと言える病院を創ります」を掲げ、この理念の下、職員一人一人が赤十字職員としての誇りをもち、日々研鑽を積んでおります。

昭和24年7月の創立以来60年が経過し、現在では病床数614床、診療科24を擁する当院は、平成23年同市内に全面移転します。地上9階、病床数555床の新病院として、地域の人々に更に信頼される病院を目指し幅広い活動を今後も展開していきます。

さて、今年度から日赤図書室協議会に入会しました当院の図書室を紹介させていただきます。当院の図書室は、面積54.81㎡、職員1人を配置しております。

業務内容は、日々の業務として、契約雑誌、追録、各部署より臨時に申請された図書等冊子体の受入れ、月平均約60件の文献依頼等を行っています。年間の業務では、電子医学資料UpToDate (DVD) の年3回インストール、和・洋雑誌の購入・継続・中止調査の実施等を行っています。

契約冊子体雑誌の保有状況については、平

成21年がタイトル数で洋雑誌85、和雑誌127です。スペースの関係上、看護系の雑誌とその他一部の雑誌は、各部署で保管してもらっている状況です。

一方、電子医学資料については、従来からの医中誌Web、UpToDateに加え、今年度よりメディカルオンラインを導入しました。利用者数も順調に推移しておりますので、今後は和書系のメディカルオンラインに続き、洋書系の電子医学資料の導入を検討していこうと考えております。

先般、日赤図書室協議会研修会に参加させていただきましたが、研修会の場でも電子医学資料に関する講義が多く、図書においても電子化が普及してきていることを実感しました。今後は、検索ツール、データベース等電子医学資料の利用促進、冊子体の電子化への見直し等、図書室の機能充実を図り、職員が利用しやすい環境にしていきたいと思っております。⁴¹

また、新たに始まった日本赤十字社医学図書館を有効活用し、併せて赤十字図書室の皆様とも情報の交換をしていきたいと思っておりますので、今後とも足利赤十字病院図書室をどうぞよろしくお願い致します。



GONDA Osamu

足利赤十字病院 医事課病歴図書係長